

アルティウスリンク、新卒採用に AI 面接を導入 採用 DX を推進し、AI で「選ぶ」のではなく「相互理解を深める」採用へ

アルティウスリンク株式会社（所在地：東京都渋谷区、代表取締役社長：那谷 雅敏、以下 アルティウスリンク）は、コーポレート DX^{※1}の一環として、新卒採用の一次面接に AI 面接^{※2}を導入しました。当社は BPO 事業を通じて、業務効率化と同時に「人が価値を発揮すべき領域」を見極める取り組みを続けてきました。本取り組みは、その方針を採用プロセスに応用したものです。AI による評価の標準化と、応募者資質の可視化を通じて、応募者一人ひとりと向き合う時間と質を高め、応募者体験のさらなる向上につなげてまいります。



POINT
01 より公平で一貫性のある選考を実現

POINT
02 採用プロセスの最適化で、応募者とさらに向き合う時間を創出

POINT
03 好きな時間・環境で、自身の強みをより自然に表現できる面接に

導入背景 – 評価基準の標準化と選考体制の強化が課題に

近年、採用競争が激化する中で、応募者との接点強化や相互理解の重要性が高まり、評価の考え方や採用プロセスの在り方を見直す動きが広がっています。当社においては、面接官による評価レポートの記載内容や観点にばらつきが生じていたことから、最終面接官への応募者情報の共有の粒度に差があるケースが発生していました。さらに、一次面接を採用部門以外の 80 名の管理職が担当しており、採用担当者においても選考に付随する事務作業負荷軽減が課題となっていました。

このような状況を受け、採用プロセスの最適化の必要性を認識し、当社が提供する各種サービスにおいて培ってきた AI やテクノロジー活用の知見を、採用領域にも応用できないか検討を重ねてきました。その一方で、採用領域における AI 活用の広がりには限定的で、日本経済新聞社の調査によると、「面接」における AI 活用は 4.5%にとどまっています。

これらの課題と社会的な状況を踏まえ、面接の質および応募者体験の向上を図りながら、評価基準の標準化と、応募者との対話により注力できる選考体制の構築に向け、採用 DX の一環として AI 面接の導入を決定しました。

導入効果 – AI による公平で統一された評価軸と、面接レポートを通じて面接の質を向上

AI 面接を本格的に導入するにあたり、2027 年卒向け採用活動において段階的に導入・効果検証を実施しました。評価 10 項目における AI スコアと、採用担当者による評価との整合性を確認したほか、応募者体験への影響や採用プロセスの効率化を検証し、本採用への導入を決定しました。

- **面接の質向上：評価観点の統一と可視化で、最終面接の深掘りが可能に**

AI による評価軸の標準化により、評価のばらつきを抑えつつ、応募者一人ひとりの特性や強みを整理・可視化し、最終選考に向けた情報共有が円滑になりました。

最終面接を担当した面接官からは、

「一次面接の内容を事前に把握できるため、限られた時間のなか応募者の考えや志向を深く掘り下げられる」

「AI スコアを参考にすることで、確認すべきポイントが明確になった」

といった評価が寄せられています。

今後は、選考過程で得られた定性情報を、入社後の育成や配置検討にも活用できる可能性を検討していきます。

- **採用プロセスの最適化：運営負荷を低減し、応募者コミュニケーションに時間を再配分**

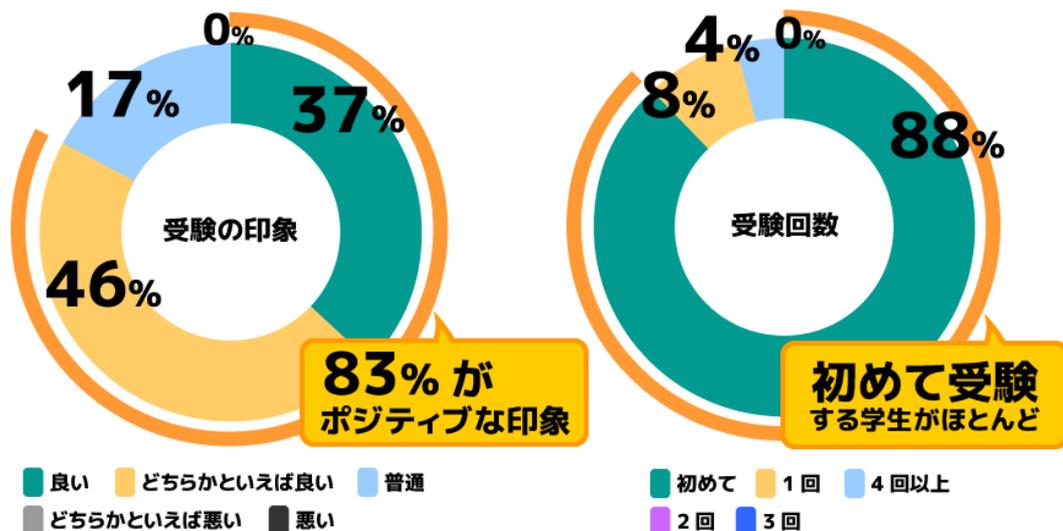
面接運営や日程調整など従来約 1,200 時間を要していた採用関連業務について、約 95%の工数削減を見込んでおり、採用担当者が応募者とのコミュニケーションやフォローに、より注力できる体制づくりにつなげます。

具体的には、採用コンテンツの拡充や、応募者との面談や電話によるフィードバック、社員交流会の実施など、コミュニケーション機会のさらなる充実を検討しています。これにより、自己分析や就職活動の軸を深めるきっかけの提供や、選考におけるサポートを通じて、応募者一人ひとりの「やりたいこと」やこれまでの経験・強みが、当社でどのように活かせるのかを具体化し、学生が納得感を持って就職活動に臨める環境づくりを進めてまいります。

- **応募者体験：受験者アンケートでは 83%が好印象、自身の経験や強みを表現しやすい選考に**

アンケートを実施したところ、AI 面接の受験が初めてという学生が大半を占める中、83%が「良い」「どちらかといえば良い」と回答。「新しい形式で興味深い体験だった」「経験を振り返る機会になった」といった前向きな評価が寄せられ、応募者それぞれが自身の経験や考えを整理し、多角的な自己表現につながる選考体験となったことがうかがえます。

また、「AI 面接に慣れておらず戸惑った」「録画・録音への緊張・不安」といった声もあり、人の面接と同様の準備で臨めることや、質問は何度でも聞き直せることなど、事前案内を充実させることで、受験者の不安解消を図ります。



今後は、応募者接点の強化やより効果的な情報発信を行い、採用プロセス全体での応募者体験向上に取り組んでまいります。また、今回の新卒採用部門における AI 面接ツール導入を通じて得られる知見を活かし、将来的には採用 DX に関するノウハウの蓄積や、採用プロセス最適化を支援するソリューション開発・活用を進めてまいります。

人財開発部 部長 中村 直子「応募者との相互理解をより深め、納得感のある出会いへ」

近年、学生の価値観やキャリア観が多様化するなか、採用活動においては、多様な人材と公平に向き合い、それぞれの個性や考え方を正しく理解することが、これまで以上に重要になっています。

AI 面接の導入は、面接官による評価のばらつきを抑え、より公平で一貫性のある選考を実現するための取り組みです。統一基準での評価ができ、面接官の主観に左右されにくい、よりフラットな選考環境を整えることができたと感じています。応募者の皆さまにとっては、移動や日程調整の負担が軽減されること、ご自身の希望の時間、環境で参加いただける点が大きなメリットです。また、対面面接に比べて心理的なプレッシャーが少なく、普段の考え方やご自身の強みを、より自然に表現していただくと期待しています。

また、AI 面接は、あくまで選考の質を高めるための補助材料と考えており、一次選考の可否については、AI の分析レポート結果を採用担当者が確認したうえで判断します。加えて、当社従業員とのコミュニケーション機会によって相互理解を深め、当社の風土を実感していただくことを重視しています。

今後もテクノロジーの力を活用しながら、応募者と向き合う時間の質を高め、双方にとって納得感のある出会いを生み出していきたいと考えています。

アルティウスリンク株式会社 について

アルティウスリンクは、人とデジタル融合による価値創造を核に、企業のお客様対応を含むフロントオフィスから、バックオフィス、IT 領域まで、企業活動を包括的に支える BPO サービスをワンストップで国内外に提供しています。アジアおよび北米を中心に 7 か国で事業を展開し、多様なパートナー企業との協働を通じて AI×デジタルを起点としたオペレーションの高度化と CX 向上につながる新たな価値創出に貢献しています。

企業とお客様のつながりすべてをデザインする「Total CX² Design Company」として、顧客体験価値

(Customer Experience) の向上と企業変革 (Corporate Transformation) という二つの CX を統合的に実現し、企業の中長期的な事業成長を支援します。

パーパスである「そのつながりを、もっとつよく。うつくしく。おもしろく。」のもと、人と企業、社会のつながりをより豊かにし、お客様企業とともに持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

所在地 : 〒151-8583 東京都渋谷区代々木 2-2-1 小田急サザンタワー

設立 : 1996 年 5 月 (アルティウスリンク発足 2023 年 9 月 1 日)

代表者 : 代表取締役社長 那谷 雅敏

資本金 : 1 億円

事業内容 : ①カスタマーサクセスサービス ②コンタクトセンターサービス ③ビジネスアウトソーシングサービス

④コーポレートアウトソーシングサービス ⑤IT アウトソーシングサービス ⑥グローバルサービス

⑦人材派遣、保険代理店、電報等のサービス提供

企業 URL : <https://www.altius-link.com/>

◎注釈

※1. 当社が推進する「デジタル BPO サービス」を実現するための DX の一つに「コーポレート DX」があります。業務効率化・働き方改革・お客様企業の動向分析により持続的な高利益体質を実現し、さらには実証結果を基に知見・ノウハウを蓄積することで、サービス化・サービス改善をめざしています。

https://www.altius-link.com/corporate/dx_strategy.pdf

※2. 株式会社タレントアンドアセスメントが提供する[対話型 AI 面接サービス「SHaiN」](#)を導入

◎商標

・本リリース本文中の製品名および会社名等は、各社の商標または登録商標です。